

# 愛寿会だより

4 月号  
第 118 号  
平成 21 年  
4 月 1 日発行



## 【 春のおとずれ 】

※ 本誌は、愛寿会ホームページに掲載しておりますので、ご覧下さい。

### 小事を大切に

#### 愛寿会職員であるように

「小事を疎かにする者は必ず大事が疎かになる」：私が愛寿会だよりでこの言葉を用いること三回目になりますが、重ねてその重要性を職員の皆さんに訴えたいのです。

「私は、介護のことなら何でも知っているし、できる。あいさつがどうか施設をきれいにとかいう小さなことに気を使っている暇はない」：若しも、そううそぶく者がいるとして、そういう人に限って実は大きなことはできない：私はそう申し上げたい。

弱い者にやさしく手を差し伸べる、困っている人に何気なく手助けする、弁別能力さえ不確かなお年寄りの方々にやさしく一声を掛ける、ごみが落ちていれば拾う、身だしなみを整える：こう言ったイロハのイこそ何よりも大事です。

仁生園、第二仁生園の職員は誰でも七つの誓いをそらんじています。

「はい」「すみません」「ありがとう」「おかげさま」「ごうじました」「そうですね」「させてください」です。これらを包括すると「より親切に」になります。では、どうすればそ

### 社会福祉法人 愛寿会

理事長 小澤 澄夫

それが実現できるか。

それは小事を積み重ねることです。ところで、昨年の暮れから今年の二月にかけて職員の皆さんに「私の希望と意見」を書いていただきました。提出率100%。

私が本当に嬉しかったのは、全員が、**この職場に意義を感じている**

**難しい仕事だが適性はあると思う**

**もっと今の職場で能力アップしたい**

**研修の機会を増やしてもらいたい**

などなど、前向きな姿勢で取り組まれていることが改めてわかったことです。

三月二十五日の理事会・評議員会で、私は、職員皆さんのこうしたお気持ちをお伝えしました。理事・評議員の全員の方が、「職員は大変だ。よくやっている。できるだけ希望や意見を聞いてやるように」とのことでした。

各位のそのお言葉にも感謝でした。それにつけても「みんなです小事を大事にしなければ」との思いが一層つよくなりました。

小事を大切にすることが結局大事を成すことにつながるのです。

新しい年度が始まります。

一二〇人の全職員が私の心を心とし、「みんなが家族」を合言葉に入所者の皆さんに接していかれるよう願って止みません。

料金後納  
郵便

7-4  
佐川物流サービス(株)

返送先: 〒140-0012  
品川区勝島1-1-1

差出人(差出發送代行)

甲子小包

この荷物はお預かりした荷物  
を当社が差出人となって発送代行いたします。

三月二十五日

理事会・評議員会開催  
愛寿会二十一年度第三回

新年度の事業計画と予算が決まりました

## 冒頭の小澤理事長あいさつ要旨

一、地域の高齢者の拠りどころである「仁生園」、地域の重度障害者の拠りどころである「第二仁生園」：その設置意義を改めて認識のうえ、愛寿会の憲法ともいうべき「三つの基本方針」及び「七つの誓い」をしっかりと守りながら、より親切的な施設運営を目指します。

二、この一月から二月にかけ全職員から「私の希望と意見」を徴したところ建設的な意見がいっぱい出されました。四月中にも事務事業検討委員会を設け、これら職員皆さんの提案等を検討し、具体化を図って参ります。

新聞やテレビ等で報道されているように、国により間もなく介護報酬の引き上げが図られます。これにどう対応するかもこの検討委員会で一定の案をまとめ、そして理事会・評議員会に諮って参ります。

三、新年度の大きな投資的事業としては、仁生園二号館の補修工事を三千八百余万円で行います。無事故、無災害で遂行するよ

う萬全の注意を払って参ります。

また、平成二十二年度に第二仁生園に作業棟を建設する予定ですが、二十一年度はその基本設計・実施設計を進めるため百余万円を計上しています。建設原資としては、長坂町大井ヶ森の障害者授産施設「緑の風」の理事長であり愛寿会の理事もお勤めの武田和久氏からの寄付金一千万円、それに財団法人JK A（旧日本自転車振興会）からの七十五%の高率補助金を予定しています。

## 仁生園、第二仁生園の事業計画から

今回は各事業所の説明はその責任者が直接行いました。その中から二、三点を掲げます。

## 一、優先入所審査委員会の常設

特養への入所は、国・県の指導により従前から申し込み順を基本として来ましたが、これが平成十五年度に改められ、真に緊急性があると客観的に認められるものについては、申し込みの順位にかかわらず、優先的に入所させることができることになりました。この場合、公平公正な審査委員会の議を経る必要があります。

平成二十一年度からこの委員会を常設とし、本当に困っている方に援助の手が差しのべられるようにします。

二、管理栄養士を配置し、入所者一人一人の

健康、体調に合わせたメニューにより入所者やご家族にご満足いただける食事を提供することとします。

三、安心安全の確保を図り、生き甲斐のあるくらしを進めるために、ヒヤリハットの件数抑止、感染症の予防、日中活動の活性化、家族との連携強化などに努めます。

## 平成二十一年度当初予算額

愛寿会本部会計一千七百余万円、仁生園六億三千百余万円、第二仁生園一億二千四百余万円、合計七億七千三百余万円が決まりました。

## 平成二十年度補正予算

事業費の年間過不足を調整するための補正予算です。

投資的事業などはありません。

## 理事及び第二仁生園園長の選任

井出武男北杜市教育委員会教育長、小池光夫仁生園園長が新しく理事に選任されました。

また、第二仁生園園長として根津英雄元愛寿会事務局長を充てることに同意されました。なお、小池理事は四月一日小澤理事長より常務理事にも発令されました。



就任あいさつ

愛寿会常務理事

仁生園園長

小池 光夫

このたび、三月二十五日の理事・評議員会でご承認いただき愛寿会の理事の職、併せて常務の職を仰せつかりました小池でございます。もとより、浅学非才の身ではございますが、

この大任をお引き受けいたしましたからには、誠心誠意、努力を傾注して愛寿会全体に課せられた社会的責務を果たすべく、全力をあげて取り組む所存でございます。

愛寿会は昭和四十八年山梨県内で初めての特別養護老人ホームとして発足し、以来、名実ともに高齢化社会の時代を先取りし数々の実績をあげてまいりました。「愛寿会のモットー」であります「利用者本位のサービスの実践」「専門性の活かせる職場づくり」「地域社会との協働と貢献」を基本にし、微力ながら今後の発展に貢献したいと考えております。

今後とも施設運営にあたりましては、ご利用者及びご家族の皆様さらには地域の皆様より信頼をいただき、ともに一体となって地域の福祉の発展に寄与していきたいと考えておりますので、どうぞ格別のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



就任あいさつ

第二仁生園園長

根津 英雄

この度、第二仁生園園長の重責を担うことになりました。平成十六年の半ばから三年間、社会福祉法人愛寿会に勤務し障害者支援施設「第二仁生園」の建設に携わらせていただきましたが、施設運営は初めてのことで身が引き締まる思いがしております。

この施設で、長年受け継がれてきた愛寿会のモットーを柱とした介護七つの誓いを胸に刻み、経験豊富なスタッフと共に安心・安全・利用者本位の運営を心がけてまいりたいと思っております。利用者は現在、自立支援法により身体・知能・精神に障害をお持ちの三十名が毎日生活されております。健康者にとって箸が持てる・スプーンが持てることは些細なことではありますが、利用者にとっては大きな前進になります。常に、利用者の自立支援を目標に取り組んでまいります。

特に、今年度から愛寿会の主要な事業として第二仁生園に作業棟の建設が計画されています。今年は、利用者にとってどのような利用方法がよいか、どのような方法が自立支援に役立つかなどを関係者のご意見をお聞きしながら検討してまいります。どうかご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

仁生園を利用されている皆様、

また保証人の皆様にお知らせとお願い

四月一日から利用料金が変わります

新聞、テレビ等の報道でご承知かと思いますが、四月一日から介護保険法に基づく事業者への報酬が相当広範囲に改定されることになりました。これに伴い入所者の利用料金も変更になります。

四月早々に変更内容をご理解いただくための説明資料を利用者（又は保証人）の皆様にお届けしますのでご覧いただけます。それによりご同意いただけましたならば、記名・捺印のうえ四月二十日（月）必着で一部を理事長あてにお送り願います。（説明資料は二部お送りします。一部は理事長あての返送用、一部はご家庭の保存用です。返信用封筒を同封します。）

なお、ご不明の点等ございましたら、次によりご照会下さいますようお願いいたします。

- 一 FAXによる照会 0551-32-3546 坂本仁あて
  - 二 電話による照会 0551-32-3340 坂本仁まで
  - 三 面接による照会 四月十二日（日）及び十四日（火）
- 日時 両日とも午前八時から午後五時まで
- 場所・説明者 仁生園会議室 坂本 仁

**第二仁生園は、障害者自立支援法による施設です。同法によると、その利用料金は住所地の市町村長が決めることになっています。北杜市によると早く決めて個人に通知したいとのことでした。**

〽 泉中学校 〽

二月二十七日(金)、泉中学校の一年生の皆様が、福祉体験学習のため来園されました。合唱やよさこいソーランを披露していただいたあと、八つのグループに分かれ魚つりや紙芝居などを楽しみました。その中でも始めてのクイズ「何かな?ボックス」は大変盛り上がり、参加された入所者の皆様も箱の中から取り出された問題に真剣に取り組んでいらつしやいました。

泉中学校の皆様、たくさん催し物や楽しい時間をありがとうございました。



【 元気溢れる よさこいソーラン 】

来園されるみな様をお願い

玄関に消毒液・マスクを設置してあります。手指消毒にご協力下さい。

〽 やればできる 〽

障害者支援施設 第二仁生園を利用されております井出育子さんが、大学在学中、全身の痛みやしびれを伴う難病を発症し、それに堪えご家族に支えられながら八年間頑張り続け、めでたく国際医療福祉大学を卒業されました。このニュースは栃木県の新聞にも大きく取り上げられました。

また、井出さんは来年以降の言語聴覚士の国家資格の合格を目指し、日々努力されています。

井出育子さん おめでとうございます。



【 お世話になった恩師 (向って左側) 右側はお母様の邦代様と記念撮影 】



〽 第二仁生園だより 〽

今年度もボランティアの方々のご協力により、沢山の行事を行う事が出来ました。ありがとうございます。

今月は、三月五日(木)に作り上げた陶芸作品です。個々に焼色や形、ひねり方法等個性に溢れており、素敵に見えませんか!



【 素晴らしい作品の数々 】

ご芳情 (三月一日〜三月三十一日)

- ・レクボランティアほがらかグループ 様
- ・レクボランティアゆずっこの会 様
- ・北杜市 山鳩の会 様
- ・北杜市 保坂 多枝子 様
- ・北杜市 小野寺 毅 様
- ・北杜市 九里 靖裕 様
- ・北杜市 浅川 公子 様
- ・甲斐市 白倉 英喜 様

愛寿会のサービスに何かご意見、ご要望などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。

仁 生 園

電話 0551-32-3340

第二仁生園

電話 0551-32-8270